

令和8年度 第1回
七尾市健康福祉審議会 地域福祉分科会

次 第

日 時 令和8年7月23日(木)
午後1時30分～
場 所 パトリア 会議室3、4

1 開 会

2 説明・報告事項

- (1) 七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会の概要について
- (2) 【地域福祉計画】令和7年度の主な取組みについて【実績】
- (3) 【地域福祉計画】令和8年度の主な取組みについて
- (4) 令和8年度地域福祉分科会のスケジュール
- (5) その他

3 閉 会

七尾市健康福祉審議会 地域福祉分科会委員

◎会長 ○副会長

No.	氏 名	委 員 の 所 属	摘 要
1	あらまき ゆたか 荒牧 豊	七尾市民生委員児童委員協議会	
2	いしがき ひろし 石垣 博	七尾市老人クラブ連合会	
3	うえしま ふじお 上島 藤男	七尾市ボランティア連絡協議会	
4	おおた よしひろ 大田 芳廣	七尾市地域づくり協議会連合会	審議会委員
5	おおまつ ひろかず 大松 博一	七尾市地区社会福祉協議会等連合会	
6	◎ おおもり としひこ 大森 俊彦	市民代表	
7	かわしり なるみ 河尻 成実	能登鹿北商工会	
8	かわぶち ただし 川淵 正	七尾市町会連合会	審議会委員
9	せんば えみこ 千場 恵美子	市民代表	
10	◎ つだ ひろみ 津田 博美	(福)七尾市社会福祉協議会	審議会委員
11	つちい やすきよ 土井 保潔	石川県能登中部保健福祉センター	
12	ひらの けんじ 平野 謙次	七尾鹿島保護区保護司会	
13	ふじもと ともえ 藤元 外茂枝	七尾市女性団体協議会	
14	まき さきえ 巻 砂紀恵	七尾市健康まちづくり推進連絡会	

※七尾市健康福祉審議会規則第7条により設置(運用は要綱による)

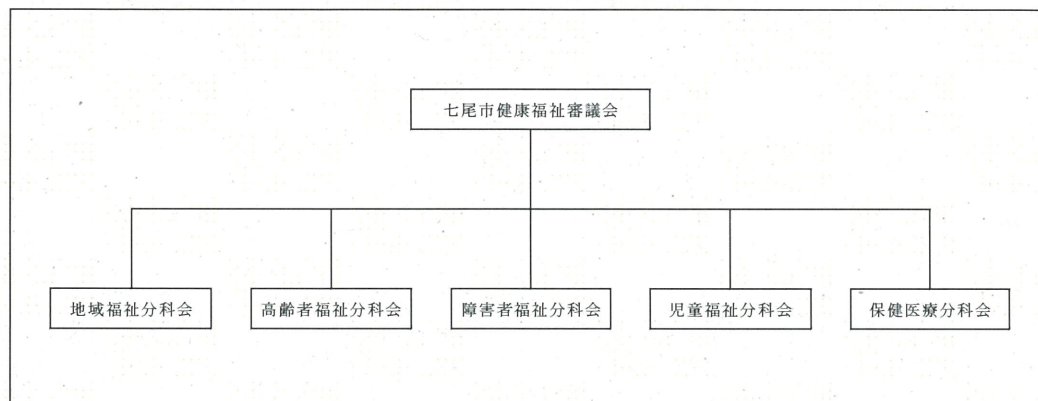
※任期:令和6年4月1日～令和9年3月31日

2 説明・報告事項

(1) 七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会の概要について

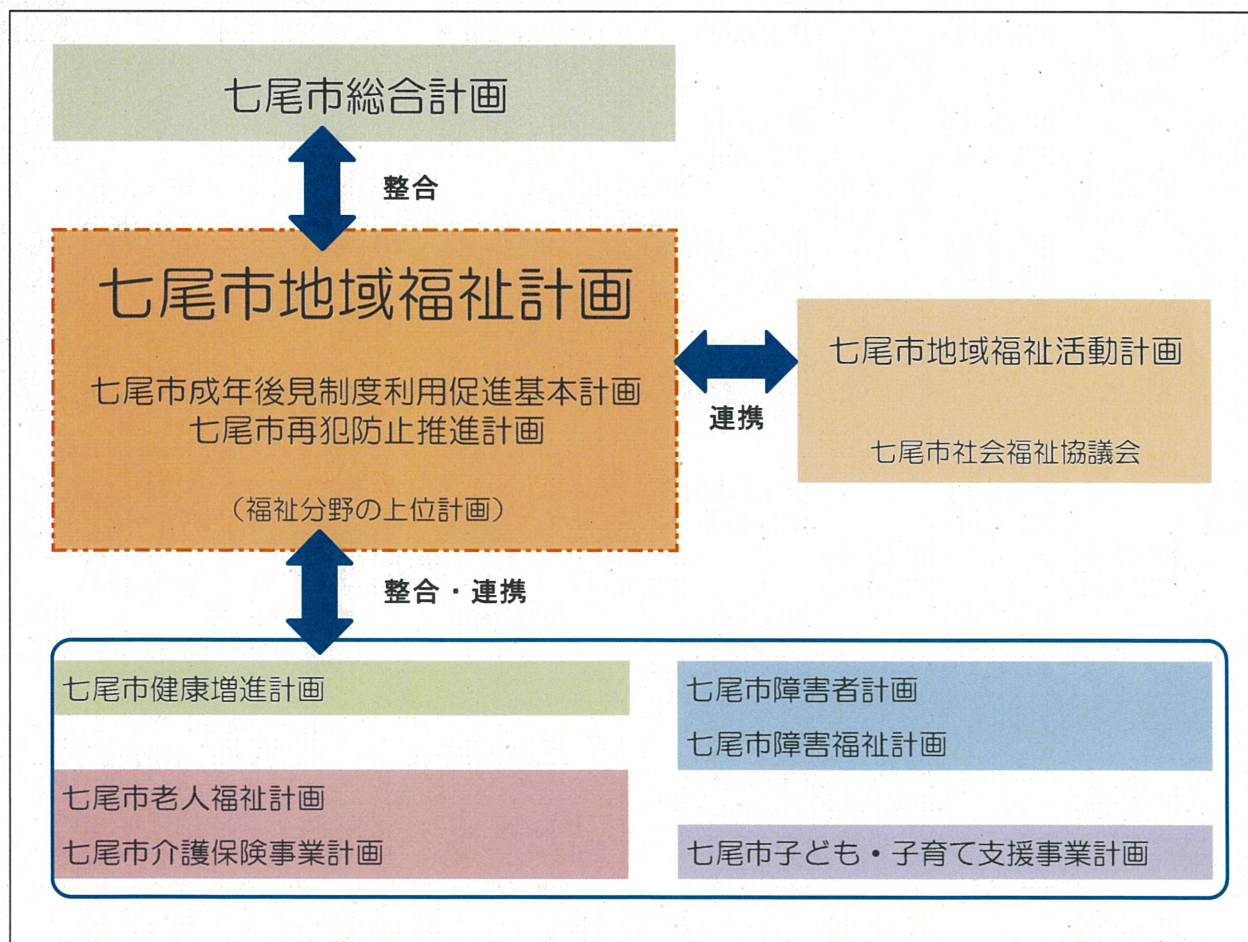
保健福祉に関する諸計画の策定や進行管理、健康福祉に関する重要事項等について、調査・審議を行う市長の諮問機関として、七尾市健康福祉審議会（以下審議会という。）が設置されている。審議会の委員は、専門家や有識者のほか、市民協働の立場から幅広い市民の参画により構成されている。

また、審議会の中には、5つの分科会が設置されており、そのうちの1つが地域福祉分科会で、地域福祉計画等の事項を審議することとなっている。



※ 関連計画との関係

地域福祉計画は福祉分野の上位計画に位置付けられていることから、老人福祉計画をはじめ、関連計画との整合・連携を図ることとしている。



分科会名	地域福祉分科会
担当課	福祉課
分科会の目的	「第3次七尾市地域福祉計画」(令和3年3月策定)の目指す将来像「希望と安心に満ちた福祉都市」を実現するため、3つの基本方針を定め、これらに関する施策を推進する。 1 支え合いの「しくみ」づくり 2 支え合いの「こころ」づくり 3 支え合いの「活動の場」づくり 本分科会では、この第3次七尾市地域福祉計画の進捗管理、地域福祉に関する重要事項の審議を行う。 (関係法令) ・社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画) ・七尾市民ふれあい福祉条例第8条(地域福祉計画の策定)
審議事項	1 地域福祉の推進に関すること 2 地域福祉の重要事項に関すること
これまでの経過	七尾市地域福祉計画 (1) 第1次(平成18年度～平成22年度) (2) 第2次(平成23年度～令和2年度) (3) 第3次(令和3年度～令和12年度) 第1次、第2次地域福祉計画では、地域福祉のネットワークづくりや緊急連絡体制・支援体制の整備、活動の中心となる人材の育成、地域活動の場づくりなど、地域における支え合いが充実した暮らしやすいまちづくりに取り組んできた。
今後の課題	1 地域のつながりの強化、地域コミュニティの活性化 2 とともに支え合う意識の醸成 3 地域における活動の場や活躍できる場の確保

令和8年度の
主な取組み

第3次七尾市地域福祉計画の進捗管理

○ 目指す将来像

「希望と安心に満ちた福祉都市」

誰もが住み慣れた地域社会の中で、快適に暮らしていくために、すべての人たちが希望と安心に満ち、幸せを実感できる福祉社会の実現を目指し、支え合いの「しくみ」づくり、支え合いの「こころ」づくり、支え合いの「活動の場」づくりを推進する。

1 支え合いの「しくみ」づくり

人口減少や少子高齢化で、地域のつながりが弱くなっている状況の中、住民一人ひとりのつながりを強化し、地域コミュニティの活性化を図りながら、支え合える「しくみ」を強化する地域福祉ネットワークづくりに努める。

- (1) 地域福祉体制の充実
- (2) 安心して暮らせるしくみづくり
- (3) 安心して生み育てられるしくみづくり
- (4) 人にやさしい環境づくり
- (5) 適切な福祉サービスの利用促進
- (6) 健康づくりの支援

2 支え合いの「こころ」づくり

地域活動を進めていくために、活動の中心的リーダーや、活動を担う人材となる人を育成する。また、支え合う意識づくりや福祉の「こころ」を育む福祉教育の充実に努める。

- (1) 地域福祉を支える人づくり
- (2) 支え合う意識づくり

3 支え合いの「活動の場」づくり

地域における「活動の場」や、活躍できる場づくりを促進し、積極的に支援する。また、勤労意識のある人が働ける場や、さまざまな交流の場づくりに努める。

- (1) 地域における活動の場づくり
- (2) 就労・雇用の促進
- (3) 地域交流の促進

(2) 【地域福祉計画】令和7年度の主な取組みについて【実績】

(3) 【地域福祉計画】令和8年度の主な取組みについて

将来像	基本方針	基本施策
希望と安心に満ちた福祉都市	1. 支え合いの「しくみ」づくり	(1) 地域福祉体制の充実
		(2) 安心して暮らせるしくみづくり
		(3) 安心して生み育てられるしくみづくり
		(4) 人にやさしい環境づくり
		(5) 適切な福祉サービスの利用促進
		(6) 健康づくりの支援
	2. 支え合いの「ところ」づくり	(1) 地域福祉を支える人づくり
		(2) 支え合う意識づくり
	3. 支え合いの「活動の場」づくり	(1) 地域における活動の場づくり
		(2) 就労・雇用の促進
		(3) 地域交流の促進

1-(1) 地域福祉体制の充実（基本施策）

① 相談支援体制の充実（取り組み）

■地域支え合いセンターの設置（福祉課） R 6～R 9（予定）

令和 6 年能登半島地震における被災者の孤立防止等のための見守り支援を行うとともに、早期の生活再建に向けて各種相談等を包括的に対応する。また、住民同士の交流機会の提供、地域社会への参加促進等、被災者支援を一体的に提供する。市社協に委託。

	令和 7 年度	令和 6 年度
相談支援延べ件数	3, 6 2 1 件	3, 4 9 7 件

【令和 8 年度】

■復興ボランティアセンターの設置（市社協）

令和 8 年 4 月から、震災からの復興を進め、住民の生活再建を支援する「七尾市復興ボランティアセンター」を設置。震災に関する困りごとや各種制度のご相談、生活再建等に向けた支援を行う。

設置場所：パトリア 3 階 市民ロビー

■地域包括支援センターの設置（高齢者支援課） 継続

高齢者の総合相談窓口として、各種相談に応じるとともに、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。市社協に委託。

	令和 7 年度	令和 6 年度
総合相談支援実人数	8 4 8 人	8 4 1 人

■こども家庭センターの設置（子育て支援課） 継続

令和 6 年 4 月から、従来の子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の機能を維持した上で「七尾市こども家庭センター」として再編し、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ切れ目のない相談支援を行う。市直営。

	令和 7 年度	令和 6 年度
総合相談支援実人数	6 2 8 人	6 7 0 人

【令和 8 年度】

■基幹相談支援センターの設置（福祉課）

令和 8 年 4 月から、障害者相談支援の中核的な役割を担う機関として「基幹相談支援センター」を設置。障害種別や各種ニーズに対応する総合的・専門的な相談支援の実施、地域の相談支援体制の強化の取り組み等を行う。

■ひきこもり支援ステーションの設置（福祉課）

令和 8 年 4 月から、自宅等でひきこもり状態にある本人及び家族等の支援を行う「ひきこもり支援ステーション」を設置。基幹相談支援センターと併設。

設置場所：ミナ・クル 1 階 ぱいんの家隣

■委託相談支援事業所の設置（福祉課） **継続**

指定一般・指定特定相談支援事業所に相談事業を委託し、障害者等からの様々な相談に対する適切な指導や助言、情報提供等を行う。

委託相談支援事業所	さいこうえんの障害者生活支援センター（七尾市） ピアサポートのと（七尾市） 相談支援事業所つばさ（中能登町）
-----------	--

■生活サポートセンターの設置（福祉課） **継続**

生活困窮者の複合的な課題に対し、一元的な対応を行う。市社協に委託。

	令和7年度	令和6年度
相談支援人数	2,075人	2,121人

■在宅介護支援センターの設置（高齢者支援課） **継続**

在宅の要援護高齢者もしくは要援護となるおそれのある高齢者またはその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じるとともに、ニーズに対応した各種の保健及び福祉サービスが、総合的に受けられるように関係機関との連絡調整等を行う。

	令和7年度	令和6年度
総合相談支援実人数	30人	45人

② 地域福祉ネットワークの充実（取り組み）

■高齢者世帯の把握及び高齢者世帯台帳の作成（高齢者支援課） **継続**

民生委員の協力を得て、高齢者世帯（一人暮らし、高齢者のみ世帯）を把握し、見守りを行う。また、これらの世帯の緊急連絡先を把握し、事故などが発生した際に迅速に家族等へ連絡できるよう高齢者世帯台帳の整備及び活用を図る。

	令和7年度	令和6年度
登録者数	5,057人	5,320人

【令和8年度】

■高齢者世帯台帳と避難行動要支援者名簿の統合（高齢者支援課、福祉課）

家族等の緊急連絡先などが記載されているなど、共通点が多い二つの台帳を統合することで、民生委員の負担を軽減し、活動の効率化を図る。

■地域福祉活動への支援（市社協） **継続**

地域住民が主体となり、町会や民生委員・児童委員、地域福祉推進員などと連携しながら、ご近所における声かけなどの見守り活動を継続することで、要支援者の困りごとの早期発見・早期対応ができる体制の構築を拡充する。

地区	実施内容
北大吞	北大吞カフェ立上げ支援、カーシェアリング事業説明会
南大吞	南大吞カフェ立上げ支援、コミュニティカーシェアリング制度の説明会、検討会 コミュニティーカーシェア利用についての問題点や疑問点等についての協議、地域福祉合同研修会（見守りネットワーク）
能登島	福祉部会研修会（見守りと支え合いマップについて）

石崎	石崎地区地域福祉懇談会
高階	高階地区合同研修会（見守りについて、支え合いマップについて）
和倉	和倉地区研修会（見守りネットワークについて）
袖ヶ江	地域福祉合同研修会（見守りネットワーク）
矢田郷	地域福祉推進員研修会

■まちカフェの実施（市社協） R7～R9

令和6年能登半島地震の影響で活気が減っている「まち」に出向き、少しでもまちが元気になるように、みんなで集まり楽しいひとときを過ごすことを目的として「まちカフェ」を実施する。

No.	町会	内容	参加者数
1	富岡町	カフェコーナー・スカットボール	12人
2	郡町西部	フレイル予防・脳トレク・カフェ	17人
3	山戸田	ラジオ体操・ヨガ・手遊び・カフェ	18人
4	塩津町	ストレッチ・グーパー体操・百科事典・カフェ	16人
5	小島町 1丁目2丁目	住職法話・軽体操・レク・カフェ	17人
6	袖ヶ江東部	ランタン作り・カラオケ・カフェ	22人
7	南藤橋町	ハーバリウム作り・カフェ	22人
8	魚町	マジックショー・ボッチャ・カフェ	30人
9	徳田町	健康体操・講話・カフェ・保育園児とのゲーム	19人
10	飯川町	100歳体操・相談コーナー・カフェ	19人
11	崎山地区	熱中症予防講話と対応劇・ボール遊び他・カフェ	12人
12	奥原町	100歳体操・かみかみ体操・消費者被害について	10人
13	新保町	ラジオ体操・ジャンケンペタンコ・タオクキャッチ・カフェ	11人
14	久木・田尻	カフェ	8人
15	本府中	体操、レクリエーション	31人
16	大田町 此ノ木赤崎	カフェ・ラジオ体操	8人
17	能登島二穴	ランタン作り、カフェ	12人

■支え合いマップの作成（市社協） R7～R9

令和6年能登半島地震の影響により自宅の解体や転出した世帯が多いことから、現在の生活の実態や見守りが必要な世帯の把握のため、支え合いマップを作成する。

地区	作成エリア
石崎	西1区～西3区、東1区～東4区、西1区～西3区、東1区～東4区
能登島	祖母ヶ浦、八ヶ崎、長崎、鰻目、向田、曲、半浦、佐波、別所、日出ヶ島、南、無関、久木、田尻、通、百万石、閨、野崎、須曽

高階	西三階町
高階	東三階、池崎、盤若野、満仁、旭、町屋、青山、温井
和倉	和泉町

■ボランティア団体による地域イベントへの支援（各ボランティア団体） 継続

地域住民とボランティア団体がお互いに協力しながら、各地域における祭りや地域イベントを開催し、地域住民のつながりを深める。令和6年能登半島地震後は、特に仮設住宅を中心に様々な地域イベント等を開催する。

③ 緊急連絡体制・支援体制の充実（取り組み）

■避難行動要支援者避難支援制度の普及促進（福祉課） 継続

災害が発生したとき、自ら避難することが困難な方を支援するために、避難行動要支援者名簿を作成し、平常時の見守り活動や迅速な避難誘導に活用する。

・対象者

- ア 在宅で生活する75歳以上の方
- イ 介護保険における要介護3・4・5の方
- ウ 身体障害(身体障害者手帳1・2級)のある方
- エ 知的障害(療育手帳A・B)のある方
- オ 精神障害(精神保健福祉手帳1・2・3級)のある方
- カ 高齢者(65歳以上)のみの世帯で上記ア～オに該当しない方
- キ 上記以外で災害時に自力での避難が困難な方

	令和7年度	令和6年度
登録者数	15,677人 (うち同意者1,874人)	15,569人 (うち同意者2,087人)

■地域見守りネットワークの整備（福祉課） 継続

一人暮らし高齢者等において、郵便受けに郵便物や新聞がたまっている、電気や水道の使用量が通常時より極端に増減している状態など、異変を察知した場合の連絡体制を整備し、地域の見守り活動に役立てている。

	令和7年度	令和6年度
受理件数	3件	3件

■聴覚障害者緊急通報体制の整備（福祉課） 継続

病気やケガ、火災などの緊急時にファクスやスマホアプリ（NET119）で七尾鹿島消防本部に緊急通報した場合、手話通訳者が派遣され、通訳を行う。

	令和7年度	令和6年度
聴覚障害者登録者数	13人	9人

■緊急通報装置の貸与（福祉課、高齢者支援課） 継続

一人暮らし高齢者等が、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応ができるよう、緊急通報装置を貸与する。特に、能登半島地震で被災した応急仮設住宅入居者を中心に機器の無償貸与を行い、高齢者等の孤立・災害関連死の防止等を図る。

	令和7年度	令和6年度
利用者数（地震）	200人	80人
利用者数（その他）	2人	4人

■緊急ファイルの周知・配布（市社協） 継続

緊急ファイルは、地域にお住いの高齢者や障害者の緊急時に、家族への連絡先や本人の医療情報が円滑に伝えられるように作成されたもの。救急隊到着時、救急隊員や民生委員など、地域の支援者が家族の連絡先や本人の病気・服薬状況などを把握するために活用されている。

	令和7年度		令和6年度	
	緊急ファイル	医療・介護 関連情報	緊急 ファイル	医療・介護 関連情報
配布数	5,281冊	1,200枚	1,089冊	220枚

■（障害者）個別避難計画の作成（福祉課） R7～R9

能登半島地震の経験を振り返り、障害のある人が自分自身の避難行動について考え、備えておくべきことや緊急連絡先などを整理した個別避難計画の作成に取り組む研修会を実施する。

	令和7年度
参加者数	80人

■（障害者）福祉避難所の整備（福祉課） 継続

障害者向けの福祉避難所が少ない現状を踏まえ、障害者が安心して避難できる環境を整備する。

	令和7年度	令和6年度
（障害者）福祉避難所設置数	2箇所	2箇所

④ 地域福祉活動団体への支援（取り組み）

■地域づくり協議会等の活動支援（地域づくり支援課ほか） 継続

市の計画や施策を地域に知っていただく活動として、地域づくり協議会等の地域の福祉団体が実施する研修会等で説明を行い、地域の実情に沿った地域福祉の活動や取り組みを支援する。

（1）地域福祉活動計画を基本とする活動への支援

15地区の地区社会福祉協議会（地域づくり協議会）を対象に、地区ごとの課題に対する活動計画の策定や福祉活動を支援し、その経費の一部を補助する。

（2）七尾市社会福祉協議会による地域福祉活動への支援

ア 地区社会福祉協議会等活動助成

イ よりあいの場立ち上げ助成

ウ 地域福祉懇談会の開催助成

エ 地域福祉推進員研修の助成

オ 地区広報誌の発刊助成

カ 先駆的な福祉事業（地区社協活動計画の策定など）に対する活動助成 など

【令和 8 年度】

■民生委員・児童委員活動費の増額（福祉課）

近年の物価高騰の影響を受け、活動する民生委員・児童委員の経済的負担も大きくなってきているため、交付する活動費を増額する。

民生委員・児童委員 1 人当たり活動費 1 万円増額（70,000 円→80,000 円）

1-(2) 安心して暮らせるしくみづくり（基本施策）

① 社会参加の促進（取り組み）

■障害者ふれあいスポーツ大会、風船バレーボール大会の開催（福祉課） 継続

障害者ふれあいスポーツ大会及び風船バレーボール大会を開催し、交流・社会参加の機会を創出する。

	令和 7 年度	令和 6 年度
障害者ふれあいスポーツ大会参加者数	71 人	大会中止
障害者風船バレーボール大会参加者数	72 人	大会中止

※令和 6 年能登半島地震の影響で参加チームが少なかったため、令和 6 年度の大会は中止

■障害福祉事業所による「ちゃれんじショップ」の開催（福祉課） 継続

パトリアやアル・プラザ鹿島などにおいて、利用者が作った商品の販売などを行う「ちゃれんじショップ」を開催する。事業所の活動を PRするとともに、利用者が直接販売することで、社会参加や就労への意欲向上を図る。

開催日及び開催場所

令和 7 年 10 月 4 日（土） 矢田郷地区コミュニティセンター
 令和 7 年 12 月 6 日（土） パトリア 1 階
 令和 7 年 12 月 13 日（土） アル・プラザ鹿島

■老人クラブ活動支援（高齢者支援課） 継続

社会奉仕活動や健康増進活動等を実施する単位老人クラブの活動に対して、活動費の一部を補助する。（1 クラブ年額 46,560 円 ※会員 30 人未満は半額）

	令和 7 年度	令和 6 年度
単位老人クラブ数	62 クラブ	68 クラブ

■介護予防ポイント制度の実施（高齢者支援課） 継続

高齢者が介護施設や通いの場等で行うボランティア活動、または介護予防活動に参加した場合にポイントを付与する。付与されたポイントは商品券と交換できる。

	令和 7 年度	令和 6 年度
登録者数	2,125 人	1,849 人
参加率※	11.5 %	10.0 %

※参加率：登録者数÷第 1 号被保険者数

② 介護支援体制の充実（取り組み）

■地域包括支援センターの設置（再掲）（高齢者支援課） 継続

■在宅介護支援センターの設置（市社協） 継続

在宅の要援護高齢者もしくは要援護となるおそれのある高齢者またはその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じるとともに、ニーズに対応した各種の保健及び福祉サービスが、総合的に受けられるように関係機関との連絡調整等を行う。

③ 生活支援体制の充実（取り組み）

■生活支援体制整備事業、生活支援コーディネーターの配置（高齢者支援課） 継続

地域ごとの生活支援・介護予防サービスの提供体制づくりを目的に、地域課題の把握、整理等を行う人材として、第1層及び第2層の生活支援コーディネーターを配置する。（第1層 市全域、第2層 15地区）

・第2層コーディネーター

	令和7年度	令和6年度
地域づくり協議会	9地区 12人	9地区 12人
市社会福祉協議会	6地区 1人	6地区 2人

■各種在宅福祉サービスの実施（各担当課） 継続

■地域福祉推進員の配置（市社協） 継続

概ね50世帯に1人の割合で地域から推薦を受け、七尾市社会福祉協議会長が委嘱し、地区社会福祉協議会に配置する福祉ボランティア。地区社会福祉協議会の構成員として、見守り活動や地域福祉活動の推進に協力する。

第11期地域福祉推進員地区別委嘱人数

（任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日）（第10期：373名）

地区名	委嘱人数	地区名	委嘱人数	地区名	委嘱人数	地区名	委嘱人数
袖ヶ江	20名	東 湊	10名	南大吞	8名	田鶴浜	29名
御 祓	25名	西 湊	24名	北大吞	7名	中 島	57名
徳 田	40名	石 崎	11名	崎 山	9名	能登島	17名
矢田郷	69名	和 倉	12名	高 階	10名	総 数	348名

④ 生活困窮者支援の充実（取り組み）

■生活サポートセンターの設置（再掲）（福祉課） 継続

⑤ 成年後見制度の利用促進（取り組み）

■中核機関の設置、連絡会の開催（高齢者支援課、福祉課） 継続

権利擁護支援を推進するため、地域連携ネットワークの中核機関の適切な運用を図るとともに、関係機関との連携強化及び成年後見制度利用促進体制の充実に向け、連絡会を開催する。

主 催	七尾市（高齢者支援課、福祉課）
対 象 者	七尾市社会福祉協議会、七尾市地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、金沢家庭裁判所、金沢弁護士会、石川県司法書士会、石川県社会福祉士会
開 催 日	令和7年10月16日（木）

⑥ 再犯防止に向けた取り組みの推進（取り組み）

■社会を明るくする運動の推進（福祉課） 継続

非行や犯罪のない明るい社会の実現に向けて、七尾鹿島保護区保護司会等と協力して「社会を明るくする運動」を推進する。

■七尾鹿島保護区保護司会の活動支援（福祉課） 継続

犯罪をした人の立ち直りを助ける活動などを行う七尾鹿島保護区保護司会に対し、活動費の一部を補助する。

1-(3) 安心して生み育てられるしくみづくり（基本施策）

① 地域における子育て支援体制の構築（取り組み）

■こども家庭センターの設置（再掲）（子育て支援課） 継続

■地域子育て支援拠点（子育て支援センター）の充実（子育て支援課） 継続

育児の悩みや疑問の相談に応じたり、子育てサークルの育成や支援を行う。

■ファミリーサポートセンター事業の実施（子育て支援課）

子どもを見てほしい方（依頼会員）と育児の手助けをしたい方（協力会員）がお互いに助け合い、育児の相互援助を行う。

	令和7年度	令和6年度
協力会員	55人	52人
依頼会員	53人	61人
両方会員	4人	4人

② 子どもの安全な居場所づくり（取り組み）

■放課後児童クラブ事業の実施（子育て支援課） 継続

仕事などのために保護者が昼間家庭にいない児童に対して、授業の終了後や長期休業日（夏休みなど）に遊びと生活の場を提供する。

	令和7年度	令和6年度
利用人数	6,458人	6,262人

■子どもの遊び場の整備（子育て支援課） 継続

屋外の遊び場を整備するため、市内5箇所の公園に遊具等の設置等を実施する。

令和7年度	能登歴史公園（R8.5） 能登島地区コミュニティセンター屋外広場（R8.6） 七尾市児童公園（R8.6） ※（）内は供用開始月
令和8年度	日和ヶ丘カルチャーパーク（子どもの広場）
令和9～10年度	希望の丘公園



能登歴史公園



能登島コミュニティセンター



七尾市児童公園

■地域こどもの生活支援強化事業（子育て支援課） 継続

多様かつ複合的な困難を抱えるこどもたちに対し、学習の支援を受けられるよう教育機関と安心安全な居場所の間の送迎支援及び食事等の提供を行う。

③ 要保護児童へのきめ細かな対応（取り組み）

■要保護児童対策地域協議会の設置（子育て支援課） 継続

要保護児童に対する適切な支援体制の充実を図るために、各機関との連携を強化しながら、虐待防止や早期発見と対応への取り組みを行う。

	令和7年度	令和6年度
代表者会議	1回	1回
実務者会議	2回	2回
ケース進行管理会議	4回	4回
個別ケース検討会議	21回	27回

■オレンジリボン周知活動（子育て支援課） 継続

強化月間（11月）キャンペーンを通じたオレンジリボン周知活動に取り組む。

	令和7年度	令和6年度
街頭キャンペーン	1回	1回
屋内キャンペーン	2回	1回

【令和 8 年度】

■親子関係形成支援事業（子育て支援課）

児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設ける等その他の必要な支援を行うことにより、親子間における適切な関係性の構築を図る。

1-(4) 人にやさしい環境づくり（基本施策）

① ユニバーサルデザインの推進（取り組み）

■公共施設のバリアフリー化（各施設整備担当課） 継続

② 生活環境の充実（取り組み）

■在宅支援型住宅リフォームの推進（福祉課、高齢者支援課） 継続

介護を要する高齢者や障害者が、住み慣れた地域で安心して自宅で暮らし続けることができるよう、在宅支援型住宅リフォーム推進事業により、自宅のバリアフリー化を支援する。（補助限度額 100 万円）

■介護保険制度における住宅改修の実施（高齢者支援課） 継続

要支援・要介護認定を受けた方が、自宅に手すりを取り付けたり、段差を解消したりする際に費用の一部を補助する。（基準額 20 万円、一部負担あり）

■障害者日常生活用具給付事業における住宅改修の実施（福祉課） 継続

在宅の障害者等の移動等を円滑にするため、手すりの取付けや洋式便器等への便器の取替えなど、小規模な住宅改修に対して助成する。（限度額 20 万円）

③ 交通手段の確保（取り組み）

■バス路線の存続・維持、コミュニティバスの運行（企画政策課） 継続

地域公共交通網の要である生活バス路線の存続・維持に努めるとともに、コミュニティバスの運行のほか、デマンド交通の利用地域の拡大を図ります。

■重度障害者福祉タクシー利用助成事業（福祉課） 継続

重度の障害者に対してタクシー利用料金を助成し、交通手段の確保及び社会参加の促進を図る。助成券 1 枚につき 600 円を助成。年間 24 枚を交付。

	令和 7 年度	令和 6 年度
交付者数	174 人	156 人
利用延べ件数	3,152 件	3,164 件

【令和 8 年度】

初乗り運賃値上げの動向を鑑み、助成額を増額する。

助成券 1 枚につき 600 円 → 700 円 に増額

1-(5) 適切な福祉サービスの利用促進（基本施策）

① 福祉サービスの利用に関する情報提供（取り組み）

■市広報誌、ホームページ、ケーブルテレビによる情報提供（各担当課） **継続**

全戸配布を行う「広報ななお」やホームページ等の掲載を基本として、福祉サービスの利用に関する情報提供を積極的に行う。

■SNS（LINE、facebook など）による情報提供（各担当課） **継続**

市広報誌やホームページをあまり見ない市民にも情報が行き渡るよう、市LINE公式アカウントや公式facebookなどのSNSを活用した情報提供を積極的に行う。

■出前講座における情報提供（各担当課） **継続**

通いの場など市民が集まる場を利用して市政講座を開催し、健康や福祉に関する情報を市民にわかりやすく周知する。

■民生委員等への情報提供（各担当課） **継続**

支援を必要とする高齢者や障害者等に関する情報などを民生委員等に積極的に提供し、支援につながりやすい環境づくりを行う。

② サービス利用に結び付いていない要支援者への対応（取り組み）

■高齢者世帯の把握及び高齢者世帯台帳の作成（再掲）（高齢者支援課） **継続**

■相談希望調査の実施、拠点コーディネーターとの連携によるアプローチ（福祉課） **継続**

障害者的高齢化や「親亡き後」に備え、住み慣れた地域で安心して住み続けるため、サービスにつながっていない方の相談希望調査を実施する。また、拠点コーディネーターと連携して、緊急時に備えた相談や事前のニーズ把握等を行う。

③ 福祉サービスの質の確保（取り組み）

■介護保険事業所における指導監査の実施（高齢者支援課） **継続**

介護給付等対象サービスの取扱いや介護報酬の請求等について指導監査を実施し、サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図る。

■介護保険事業者連絡会の開催（高齢者支援課） **継続**

介護保険事業者が参加する事業者連絡会において、研修会の実施や介護保険制度に関する情報等を提供・周知するなど、事業の適正な運営を図る。

■（障害者）七尾市・中能登町地域自立支援協議会の設置（福祉課） **継続**

障害福祉に関する関係者で構成される「七尾市・中能登町地域自立支援協議会」を設置し、地域の現状や課題等の情報共有、社会資源の開発、改善を図るほか、困難事例への対応を協議するなど、サービスの質の向上に努める。

■（障害者）地域連携推進会議の開催（福祉課） **継続**

障害者支援施設及び共同生活援助において、地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催することなどが令和7年度から義務化されたことに

より、市担当者も構成員（地域連携推進員）となり、サービスの透明性や質の確保に努める。

1-(6) 健康づくりの支援（基本施策）

① 地域における健康づくり活動の支援（取り組み）

■健康づくりに関する地区活動の推進（健康推進課） 継続

15地区の健康まちづくり推進連絡会と連携し、検（健）診の受診勧奨、生活習慣病予防や運動の教室開催など、健康づくり活動を推進する。

	令和7年度	令和6年度
がん検診・特定健診の受診勧奨		
訪問	26回 2,371世帯	93回 3,483世帯
集団	44回 1,752人	68回 2,974人
生活習慣病予防教室	92回 3,361人	105回 4,380人
栄養の話・食育	81回 2,032人	83回 2,156人
ウォーキングの普及	48回 838人	55回 902人

2-(1) 地域福祉を支える人づくり（基本施策）

① 活動の中心となる人材の育成（取り組み）

■民生委員・児童委員研修会の実施（市社協） 継続

毎年度、研修内容を工夫しながら、夏季・冬季の年2回、民生委員・児童委員全員に対して研修会を開催し、委員の資質向上に努めている。

② 活動の担い手となる人材の育成（取り組み）

■地域福祉の担い手育成（高齢者支援課、健康推進課、市社協） 継続

(1) シルバーリハビリ体操2級・3級指導士養成講習会の実施

地域の新たな担い手として活躍するリハビリ体操普及のボランティアを養成・育成する。

	令和7年度	令和6年度
3級受講者数（修了累計）	8人（84人）	11人（76人）
2級受講者数（修了累計）	12人（28人）	16人（16人）

(2) 生活・介護支援サポーター養成講座の実施

住民自らが、高齢者等の支援が必要な方のサポート（見守り、家事、訪問等）が行える担い手を養成する。

	令和7年度	令和6年度
修了者数	10人	8人
修了累計	407人	397人

(3) 認知症サポーター養成講座の実施

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守り、地域等可能な範囲で支援をすることが出来る人材を養成する。

	令和7年度	令和6年度
開催回数	12回	9回
受講人数	270人	212人
受講累計	6,712人	6,442人

(4) ゲートキーパー養成講座の実施

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（声かけ、話を聞く、必要な支援に繋げる、見守る）ができる人材を養成する。

	令和7年度	令和6年度
開催回数	3回	3回
受講人数	191人	42人
受講累計	2,352人	2,161人

■ボランティアセンターによるボランティア養成講座の実施（市社協） 継続

(1) 傾聴ボランティア養成講座の実施

相手を尊重し、「肯定・共感」しながら「聴く」心構えをもつ人材を養成する。

(2) 災害ボランティア養成講座

防災・減災の観点から日頃の備えや周囲への働きかけ、災害時の心構えについて学ぶ。

(3) 衛生講習及び調理講習（会食・配食ボランティア対象）

会食、配食ボランティアを対象に、食中毒の予防について衛生講習を実施。また、メニューのレパートリーを増やす調理講習もあわせて実施。

(4) 外出支援ボランティア養成講座

外出の支援を求める要配慮者が、自由に外出をし、生活の幅が広がる機会を多くするための必要な支援方法などを学ぶ。

講座名	受講者数
傾聴ボランティアフォローアップ研修	13名
食品衛生・調理講習	21名
市民災害ボランティア養成講座①	6名
市民災害ボランティア養成講座②	6名
外出支援ボランティア養成講座	2名

2-(2) 支え合う意識づくり（基本施策）

① 広報・啓発活動の充実（取り組み）

■広報やSNS等を活用した情報発信（福祉課、市社協） 継続

七尾市が発行する「広報ななお」や七尾市社会福祉協議会が発行する「ななお社協だより」などを活用して、身近な地域福祉の取り組みやボランティア活動の状況などの情報発信を行っていく。また、市公式LINEやYouTubeなどの活用も図る。

② 福祉教育の充実（取り組み）

■福祉体験出前講座の開催（市社協） 継続

車イス体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験を通じて、バリアフリーの知識や心を養うことを目的に、学校、企業等を対象に福祉への理解を深めるための出前講座を実施する。



	令和 7 年度	令和 6 年度
実施した学校・企業数	小学校 3 校	小学校 2 校
参加者数	78 人	38 人

③ 体験学習の充実（取り組み）

■手話出前講座事業（福祉課） 継続

平成 31 年 4 月に施行した七尾市手話言語条例に基づき、手話への理解を深めるため、小学生向けに手話講座を実施する。



市内小学校全 10 校に出前手話講座の開催を案内し、依頼があった学校に出向いて、手話への理解促進と普及啓発を図る。聴覚障害者のコミュニケーション方法や簡単な手話を覚えてもらう。（対象 小学校 4 年生又は 5 年生）

	令和 7 年度	令和 6 年度
実施した学校数	10 校	9 校
参加児童数	309 人	292 人

④ こころのバリアフリーの推進

■障害者週間「こころのバリアフリー作品展」の実施（福祉課） 継続

障害者週間（12 月 3 日～12 月 9 日）に合わせて、障害のある人となない人の相互理解や障害者のより広い社会参加を目指し、啓発活動を実施する。七尾市、中能登町にある障害福祉サービス事業所、精神科病院などに依頼し、各事業所等の利用者が製作した作品を展示する。

開催期間	令和 7 年 12 月 3 日（水）～14 日（日）
開催場所	パトリア 3 階



	令和 7 年度	令和 6 年度
参加団体数	19 団体	19 団体

3-(1) 地域における活動の場づくり（基本施策）

① 通いの場の充実（取り組み）

■通いの場の充実（高齢者支援課） 継続

地域の住民同士が気軽に集い、一緒に内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げるとともに、地域の介護予防の拠点となる通いの場の充実を支援する。

② 活躍できる場の充実（取り組み）

■地域づくり協議会の活動支援（再掲）（地域づくり支援課ほか） 継続

■介護予防ポイント制度の実施（再掲）（高齢者支援課） 継続

■地域福祉推進員の配置（再掲）（市社協） 継続

■よりあいの場立ち上げ支援（市社協）

新しくよりあいの場を立ち上げる団体に対し、活動に使用する消耗品及び備品購入費を助成する。（ただし1件につき上限20,000円）

	令和 7 年度	令和 6 年度
助成件数	4 件	2 件
助成額	73,196 円	32,587 円

3-(2) 就労・雇用の促進（基本施策）

① 高齢者の就労支援の充実（取り組み）

■シルバー人材センターへの支援（高齢者支援課） 継続

シルバー人材センターと連携し、高齢者の豊富な知識や経験を活かせる就業の機会を提供することで、社会参加や生きがいづくりを推進するとともに、シルバー人材センターへの加入促進や就労機会の確保、拡大を支援する。

	令和 7 年度	令和 6 年度
シルバー会員数	978 人	1,065 人
就業延人員	55,708 人	50,764 人

② 障害者の就労支援の充実（取り組み）

■さいこうえん障害者就業・生活支援センター等との連携強化（福祉課） 継続

関係機関との連携を密にし、就労を希望する障害者への支援と、福祉就労から一般就労への移行や就労継続をサポートする。

■体験型職場実習制度（チャレンジワーク）の実施（福祉課） 継続

七尾市・中能登町地域自立支援協議会しごとの部会において、障害者の雇用に向けた体験型職場実習制度（チャレンジワーク）の周知を図り、障害者に対する企業側の理解の促進を図る。

	令和7年度	令和6年度
提携企業数	22社	21社
利用件数	10件	11件

③ 生活困窮者の就労支援の充実（取り組み）

■就労支援員の配置（生活サポートセンター等）（福祉課） 継続

平成27年4月「生活困窮者自立支援法」施行に伴い、関係機関や地域の方と協力し、就労相談・就労支援相談を行う。

支援体制 2人（主任相談支援員1人、相談支援員1人（就労支援員兼務））

連携体制 ハローワークと連携し、支援調整会議にて対象者の支援計画の情報共有を行い、段階的な支援を行う。

	令和7年度	令和6年度
就労相談・就労支援相談	41件	38件

3-(3) 地域交流の促進（基本施策）

① 世代間交流の促進（取り組み）

■高齢者と子どものスポーツ大会（高齢者支援課） 継続

高齢者と子どもが、ともにスポーツやレクリエーションを楽しみながら、健康づくりを図り、ふれあいを通じて地域との連携意識の高揚を図る。

開催日	令和7年10月29日（水）
開催場所	七尾総合市民体育館
参加者数	360人（内、園児120人）

■七尾市老人クラブ連合会による世代間交流作品展（高齢者支援課） 継続

老人クラブ会員の多彩な文化活動の発表の場として開催する。併せて、老人クラブ活動の周知を図るとともに、幼児・児童の作品展示を通して世代間の交流を図る。

■認定こども園等における世代間交流（各認定こども園等）

認定こども園等において、高齢者との様々な交流事業を実施する。

② 福祉関係施設と地域住民との交流促進（取り組み）

■各福祉施設における地域交流イベントの開催（各福祉施設） 継続

各福祉施設におけるイベントに地域住民が参加したり、地域行事に各福祉施設利用者が参加したりして、お互いに交流を図る。

③ 当事者同士の交流促進（取り組み）

■七尾市障害者福祉団体連絡協議会の設置（福祉課） 継続

身体障害者や知的障害者など、障害者及びその者を支援する人で構成された各障害者連絡会を開催し、当事者の意見などを様々な取組みに生かしていく。

■障害児と保護者による「こころのバリアフリーカフェ」の実施（福祉課） 継続

障害児の保護者が、自身の育児経験を活かして、同じ子をもつ保護者からの悩みに寄り添い、リフレッシュする時間を提供する。また、障害のある子の社会参加と交流経験を育む。

開催日	令和7年12月6日（土）
開催場所	ぱいんの家（ミナ.クル1階）
参加者数	親子合わせて 17人

■認知症高齢者等介護者への支援（高齢者支援課） 継続

認知症の方やその家族が気軽に集える認知症カフェ等を開催し、家族の介護負担の傾聴や気持ちを分かち合える場として利用を促す。

(1) 認知症の人と家族の集い「なないろカフェ」

	令和7年度	令和6年度
開催数	3会場 6回	3会場 6回
	利用者 64人	利用者 45人

(2) 家族介護教室

介護保険事業者へ委託（2事業者が実施）

(3) みんなの広場

介護保険サービスや地域活動につながらないなど、必要な支援に結びつかない高齢者等の交流の場

	令和7年度	令和6年度
開催数	1会場 5回	1会場 3回
	利用者 20人	利用者 15人

(4) 令和8年度地域福祉分科会のスケジュール

年月	健康福祉審議会	地域福祉分科会		高齢者福祉分科会		障害者福祉分科会		児童福祉分科会		保健医療分科会	
		開催日	内 容	開催日	内 容	開催日	内 容	開催日	内 容	開催日	内 容
4月											
5月	七尾市長より健康福祉審議会に諮問 5月15日(金)										
6月	第1回健康福祉審議会 6月4日(木)13:30～										
7月		第1回 7月23日 (木)	計画進捗状況 今後の取組、スケジュール	第1回 7月16日 (木)	計画進捗状況 今後の取組、スケジュール	第1回 7月9日 (木)	計画進捗状況 今後の取組、スケジュール	第1回 書面開催 8月24日 (月)	計画進捗状況 今後の取組、スケジュール	第1回 7月6日 (月)	計画進捗状況 今後の取組、スケジュール
8月								第2回 8月24日 (月)	子どもの遊び場の協議・検討		
9月				第2回 9月上旬	新計画案審議						
10月											
11月	第2回健康福祉審議会 11月下旬			第3回 11月上旬	新計画案審議	第2回 11月上旬	新計画案審議				
12月											
1月											
2月	第3回健康福祉審議会 2月下旬	第2回 2月上旬	令和8年度進捗報告	第4回 2月上旬	令和8年度進捗報告 新計画案最終審議	第3回 2月上旬	令和8年度進捗報告 新計画案最終審議	第3回 2月上旬	令和8年度進捗報告	第2回 2月上旬	令和8年度進捗報告
3月	七尾市長へ答申										

七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会事務局職員名簿

所 属	職 名	氏 名
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	課 長 室 長	原 田 樹
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	課長補佐 室 次 長	久 水 啓 介
健康福祉部福祉課 健康福祉政策室	課長補佐 室 次 長	野 崎 朋 美
健康福祉部福祉課 障害者福祉グループ (健康福祉政策室員兼務)	主 幹	北 野 大 輔
健康福祉部福祉課 生活援護グループ (健康福祉政策室員兼務)	主 幹	藤 田 陽 子
健康福祉部子育て支援課 家庭支援グループ (健康福祉政策室員兼務)	課長補佐	関 屋 崇
健康福祉部高齢者支援課 地域包括グループ (健康福祉政策室員兼務)	課長補佐	山 田 善 子
健康福祉部保険課 (健康福祉政策室員兼務)	課長補佐	堀 内 寛 文
健康福祉部健康推進課 健康推進グループ (健康福祉政策室員兼務)	課長補佐	山 崎 まり子

(事務局)

健康福祉部福祉課 健康福祉政策室

TEL 53-3625

FAX 53-5990